



テヌータ・ディ・ノッツオーレ

Tenuta di Nozzole

生産者名 アンブロジー&ジョヴァンニ・フォロナリ
生産者名 (英) Ambrogio e Giovanni Folonari

キアンティ・クラシコ地域を代表する、歴史と権威あるワイナリー

テヌータ・ディ・ノッツオーレは、キアンティ・クラシコ地域を代表するワイナリーで、その起源は13世紀にまで遡ります。同ワイナリー所有の葡萄園は、その当時から高品質のワインを造るとの評価が高く、古い文献にもその評判についての記述が見られます。1971年にトスカーナの名門フォロナリ家の所有となり、畑や醸造設備への投資によって、さらなる品質向上を遂げ、同社のワインやオリーブオイルは、イタリア国内のみならず、アメリカをはじめとする海外市場においても高く評価されるようになりました。キアンティ・クラシコの他に、シャルドネ100%で造られる「レ・ブルニケ」や、有名ワインガイドなどで評価が高い、カベルネ・ソーヴィニヨン100%で造られるスーパートスカーナ「イル・パレート」があります。イル・パレートは、ノッツオーレの領地内にある広大な地中海松の森を開墾した畑に、ベストマッチなカベルネ・ソーヴィニヨンを植えることにより、独特の骨格と個性を発揮するワインとなっています。



フォロナリ家では、ノッツオーレ以外にもスーパートスカーナ「イル・ボルゴ」や、ボルゲリに新たに開墾した「カンポ・アル・マーレ」など今後が楽しみなワインを造り出しています。

